

殺ダニ剤の登録一覧表

(2007年用)

JA全農山形 生産資材部

薬剤名	ナミハダニ			リンゴハダニ			感受性の低下実績	オウトウハダニ	チャノホコリダニ	サビダニ	ボルドー液・混用	りんご	おうとう	もも	ぶどう	なし	きゅうり	トマト	なす	すいか	いちご	メロン	菊	ばら	注 意 事 項						
	卵	幼虫	成虫	卵	幼虫	成虫																									
バロックフロアブル	◎	◎	×	◎	◎	×	有り (ナミハダニ)	(○)	-	(○)	×	ナミハダニ 2,000 リンゴハダニ 2,000~ 3,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	-	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	・成虫に対する活性はないが、卵・幼虫・若虫の各ステージに活性が高く長い残効がある。 ・ボルドー液散布10日前まで使用し、ボルドー液散布後は使用しない。 ・スモモ、ネクタリンにも登録あり。	
マイトコーネフロアブル	◎	◎	◎	○	◎	◎	有り (リンゴハダニ卵)	(○)	(○)	○	×	ナミハダニ 1,000~ 1,500 リンゴハダニ 1,500 1,000	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	・ボルドー液との混用は避け、近接散布は前後14日以上開ける。 ・ミツバチ・蚕およびカブリダニ等の天敵に対する影響が少ない。 ・スモモ、ミニトマト、柿、ネクタリンにも登録あり。		
オサダン水和剤	△	◎	○	△	◎	○	有り	-	(○)	(○)	×	1,000~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	-	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	・ボルドー液散布後は30日以上開ける。 ・本剤散布後は、10日間はボルドー液を散布しない。 ・水和剤はセルリ、柿、カーネーション、ネクタリンにも登録あり。			
オサダンフロアブル												2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	-	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	-				
ダニトロンフロアブル	○	◎	◎	○	◎	◎	有り	-	(○)	(○)	○	1,000~ 2,000	1,000	1,000 ~ 2,000	1,000 ~ 2,000	1,000 ~ 2,000	1,000 ~ 2,000	2,000	-	2,000	1,000 ~ 2,000	1,000 ~ 2,000	1,000 ~ 2,000	1,000 ~ 2,000	1,000 ~ 2,000	1,000	1,000	1,000	・原液を皮膚や目に直接付着しないようにする。(刺激が強い) ・カマド・ビニールは交叉抵抗を示すので連用は避ける。 ・大豆、柿、ハウレンソウ、カーネーションにも登録あり。		
サンマイト水和剤	○	◎	◎	○	◎	◎	有り	(○)	(○)	○	○	ナミハダニ 1,000~ 1,500 リンゴハダニ 1,000~ 3,000	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・原液を皮膚や目に直接付着しないようにする。(刺激が強い) ・ダニトロン・ビニールは交叉抵抗を示すので連用は避ける。 ・水和剤はすもも、柿に、FL剤は枝豆に登録あり。	
サンマイトフロアブル								-				-	-	-	-	-	1,000 ~ 1,500	1,500	-	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000	-	-	-	-			
カネマイトフロアブル	○	◎	◎	○	◎	◎	無し	(○)	○	○	×	1,000~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	-	1,000	1,000 ~ 1,500	-	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,000	1,000	1,000	1,000	-	・アリエティックと混用する場合はカネマイトを先に希釈し混用する。 ・ボルドー液との混用は避け、近接散布は前後14日以上開ける。 ・すもも、ネクタリン、うり類(漬物用)で登録あり。		
コロマイト水和剤	◎	◎	◎	◎	◎	◎	無し	(○)	(○)	(○)	○	2,000	-	-	2,000	2,000	2,000	-	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	・蚕毒性があるので、桑園の周辺では飛散しないように注意する。 ・乳剤は、葉害防止のため安全性が確認された薬剤のみ混用する。 ・乳剤は、展着剤および葉面散布肥料とは混用しない。 ・乳剤はトマト・ミニトマトのハダニ類、トマトサビダニ、コナジラミ類で登録あり。(*1) ・水和剤は食用菊にも登録あり。		
コロマイト乳剤												1,000	1,000	1,000	-	1,000 ~ 1,500	1,000 ~ 1,500	1,500 (*1)	1,500	1,000	1,000 ~ 1,500	1,000	-	-	-	-	-	-			
コテツフロアブル	◎	◎	◎	×	×	×	無し	(○)	(○)	(○)	×	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000 ~ 3,000	2,000	2,000	2,000	-	2,000	-	2,000	-	2,000	-	-	-	・蚕毒性があるので、桑園周辺では飛散しないように注意する。 ・ハダニ・ダニ・コナジラミ・ナスの幼苗期は葉害の恐れがあるので使用不可。 ・オクラではハダニ・コナジラミ・オクラで登録あり。 ・ミニトマトにも登録あり。		

※各薬剤共、ボルドー液と混用して使用すると効果が低下したり、残効期間が短くなるようなので留意する。

※殺ダニ剤は抵抗性回避のため各薬剤共、年1回の使用とする。